

令和7年度まちづくり懇談会内容

日時：令和7年11月25日（火） 10：00～

場所：町民センター（寿大学学習会）

出席者：25人

- 1.開会
- 2.町長説明
- 3.懇談
- 4.閉会

【懇談・そのほか質疑など】

■老人施設、福祉会	
町民	老人施設や福祉会などは、今後の状況は大丈夫なのか。
町長	従業員が不足しており、福祉会は運営が難しい状況である。高齢世代は今後も増加するため、高齢世代が施設を利用して生き生きと過ごす姿を若い世代が見て、そうなりたいと思えるようにしていきたい。ニセコ町らしいやり方を模索し、抜本的に経営体制の見直しも検討していきたい。

■高齢者の居場所	
町民	高齢者がお茶が飲めるような施設が欲しい。今は自宅しかない。喫茶店みたいなところがない。
町長	役場庁舎の3階にワンコインでお茶を飲めるような機械を設置するなど、検討する。

■水資源の訴訟	
町民	水資源の問題はどうなったか。興味がある。
町長	現在、和解の手前まで進んでいたが、ニセコ町での追加の主張などをして弁論再開を目指している。状況を説明できるようになったら、町民への説明機会を作る予定である。

■公営住宅の電波	
町民	公営住宅の電波が悪い。
町長	携帯電話会社によっては、電波改善装置を貸してくれるところもある。都市建設課にも相談してみる。

都市建設課長	(追加回答) 一般的に、契約者から携帯電話会社に連絡したほうが改善対応が早い。まずは契約会社への連絡をお願いしている。そのうえで、町で対応が必要となった場合は改めて相談してほしい。
--------	--

■交通	
町民	不便だ。にこっとバスは、1週間前からしか予約ができない。寿大学にも参加しにくくなる。
町長	町には昔、町バスがあった。これを復活できないか考えている。小回りの利くようなバスで迎えに行くようなことをしたい。

■水資源の訴訟	
町民	水資源の問題は怖い。水が使えなくなることがないようにしてほしい。
町長	使えなくなることがないように、しっかり対応していく。今後、説明機会を作る予定である。

■にこっとバス	
町民	以前、にこっとバスの台数を増やす話が出ていたが、どうなっているか。
町長	運転手不足で難しいと聞いている。寿大学の送迎にも利用できるような、町バスの復活を検討している。にこっとバスは二種免許が必要だが、町バスは二種免許は必要ないので、運転手の幅の広がると考えている。

■綺羅乃湯の高齢者助成	
町民	綺羅乃湯の高齢者に対する入浴料の助成回数を増やしてほしい。
町長	公平性という観点では、まず、新しい高校寮はシャワーしかなく、高校生に綺羅乃湯を利用してもらいたいが、高校生は大人料金での利用となる。また、羊蹄山麓全体として、入浴料が高騰しており、綺羅乃湯は安く入浴できることからお客さんが集中している。町民とそれ以外で価格を分け、その収益で助成ができないか検討していきたい。

■高齢者への取り組み	
町民	寿大学学習会なのに、老人の話が出ていない。町は、高齢者が安心して暮らすためにどうしていくか具体的に考えているか。教育委員会は、高齢者の教育についてどう考えているか。

教育長	生涯教育と言われているように、いくつになっても大学が受けられるような環境を目指している。寿大学にも若い世代が入ってくれるよう、60代くらいのつなぎ役となるような人たちとの学びの場を作っていきたい。
町長	子どもたちを中心に、さまざまな世代が交わるようなまちづくりをしていきたいと考えている。集まりに参加しやすくするための町バスの検討や、快適に過ごすための住み替えなど、支援していく。
町民	具体的には、①社協の事務所が町民センターの奥にあり、狭くて行きにくい、②綺羅乃湯の入浴料は100円だが、交通に400円かかるのをなんとかしてほしい、③老人会は会員が減っているが孤立を防ぐために活動しているので補助金を増額してほしい、という3つをお願いしたい。

■街灯整備	
町民	モックニセコ付近に街灯がないので整備してほしい。
都市建設課長	(追加回答) 都市建設課の管轄となる道路管理においての街灯設置は、基本的に夜間の分かりづらい交差点において、通行車両が安全に通行するために設置する考えとなる。